



1人1台の学習者用端末の活用が広がっています 「学び」が深まる、広がる 「学ぶ」って楽しい!



小平市立小・中学校ではさまざまな場面で学習者用端末を活用し、児童・生徒が豊かな学びを得られる教育を進めています。

撮影：小平第三小学校

小平第十二小学校の実践

児童は、学習者用端末の活用ルールや基本的な使い方を知り、授業では、主に写真や動画を撮影したり、情報収集や意見交流などの場面で活用したりしています。端末の操作に随分慣れ、特別活動においても、すすんで活用しています。



上水中学校の実践

生徒は、学習成果の発表や意見交流、考察の場面等で活用しています。美術の学習ではデッサンの参考になる絵を探したり、保健体育では自分の動きを客観的に確認するために動画を撮影したりしています。生徒会活動ではペーパーレスを目指し、資料をデータで共有しています。



「マスクの着用」について

学校では、子どもたちは、感染予防のために、原則としてマスクを着用することとしています。ただし、マスクの着用による熱中症などの健康被害を防ぐため、体育の授業や登下校等では、子どもたちの心身の健康を最優先し、マスクを外すよう指導しています。

また、アレルギーや心身の状況等の理由により、マスクを着用することができない子どもや、常時マスクを着用することについて、不安や不調等を感じる子どもに対して、差別や偏見が生じることがないように指導するとともに、マスクを着用することができない場合や、やむを得ない場合には、咳エチケットを行うよう指導しています。

マスクの着用について、御理解・御協力をお願いいたします。

地域の皆様の温かい見守りをお願いいたします。

学校給食センターの建替えが進んでいます

～新センターは令和5年2月から稼働予定～

学校給食センターは、施設の老朽化に伴い、PFI手法(※)により従来と同じ敷地での建替えを行っており、令和5年2月からの稼働に向けて準備を進めています。

新センターには、スチームコンベクションオープンなど、手作りでおいしい給食を調理するための機器を設置するほか、太陽光発電や省エネ型空調といった環境にも配慮した設備を導入します。また、2階には調理の様子を見学できるスペースや試食会等を開催できる部屋を設け、児童・生徒や保護者の食への理解を深める取組を実施します。



現在の建設工事の様子



1階部分



完成イメージ図

※PFI(Private Finance Initiative)手法
民間の資金や経営能力・技術力を活用して、公共施設等の設計・建設・改修や維持管理・運営を一貫して行い、効率的・効果的に整備する公共事業の手法。